

令和2年度 第2回 大阪府立東住吉総合高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：令和2年10月1日（木）14：00～16：00

場所：大阪府立東住吉総合高等学校TRYルーム

1. 開会

2. 学校長挨拶

3. 出席委員紹介

4. 授業見学

- ・国語総合β 3－5 (英数系列)
- ・電気実習2 電気機器室・電気応用室 (電気系列)
- ・体育 体育館 (全系列)

5. 協議

(1) 授業改善に向けてのこれまでの取組について：教頭から説明

- ・平成26年度から平成29年度にかけて、大阪府教育センター主催の『パッケージ研修』を実施。前年よりステップアップした研修により、多くの先生方にとっても、授業改善のきっかけとなった。
- ・平成30年度は『パッケージ研修』は行っていないが若手の先生を中心とした自主的な『授業改善委員会』を立ち上げ、授業改善について検討を重ねた。
- ・学校教育自己診断結果の肯定感について、平成28年度から令和元年度まで数値が上昇傾向であることを確認。
- ・令和元年度は「確かな学力の育成」と「主体的・対話的で深い学び」の実現のために「魅力ある授業づくり」をめざした「パッケージ研修支援Ⅰ」を実施。先生方各自が持っている授業に対する課題や困っていることなどについて意見交換をし、各教科での取り組みについて協議を行った。
- ・令和2年度は学力向上プロジェクトチーム(GPT)の先生方を中心に授業改善、学力向上をめざし、「授業研究プロジェクトチーム」「ICT機器活用研究プロジェクトチーム」「放課後学習プロジェクトチーム」の3つのチームに分かれて校内研修の企画と運営について協議を行った。
- ・さらに、教頭、首席、学力向上プロジェクトチームのメンバーからなる「オンライン授業委員会」を組織し、8月6日（木）にオンライン授業についての校内研修を実施し、10月7日（水）にも校内研修を行う予定。
- ・今後は、「授業力向上」と「ICT機器活用」をテーマに11月に研究授業、12月に研究協議、年度末に総括を行う予定。

(2) 「授業見学意見交換」

☆授業実践者からの意見

- ・体育の授業でバレーボールのラリーを続けさせることが難しい。ネットの高さを低く設定することで、バウンドを認める特別ルールの設定や、滞空時間が長いソフトバレーボールを使用する場合もある。生徒は少しずつラリーが続くようになってきている。

☆各委員からの感想・意見

- ・生徒は、明るく元気で前向きに頑張っていて雰囲気が良い。しっかり、話を聞く姿勢ができています。
- ・体育については、服装や集合がきちんできています。普段からの指導がしっかりできています。
- ・生徒は、先生の言うことを納得して授業に参加できています。
- ・コロナの影響でどんな状態の授業になっているか心配であったが、どの授業も教師と生徒との信頼関係ができていて、雰囲気が良かった。
- ・授業は、和気あいあいとしていて楽しく授業を見学することができた。
- ・楽しすぎるだけでなく、締めるところは、きちんと締めないと力をつけるのが難しい科目もある。生徒の状況に応じて進めていく必要性も感じた。
- ・電気実習は専門の授業でもあり、将来その分野に進む生徒が集まっているので、興味を持って真面目に取り組んでいる。
- ・学校教育自己診断の結果の中で「わかりやすく楽しい」などの肯定感が、少しずつ上がっているというのが授業の中に出ている。
- ・コロナの影響もあると思うが全体的にも東住吉総合は良くなってきている。今後もさらに授業改善の取り組みを進めていただきたい。

☆その他、各委員からの質問についての回答等

- ・ICT機器については比較的多くの教員がモニターやプロジェクター等を活用し授業を行っている。Wi-Fi（ワイファイ）環境については国の事業により整備予定。
- ・オンライン授業委員会の先生方を中心にオンライン授業に対応したICT機器の活用を進めている。
- ・今後は、学力向上プロジェクトチームのICT機器活用研究プロジェクトチームの先生方を中心に研究授業、研究協議、総括を行う予定。
- ・オンライン授業については、生徒との送受信体制は全ての教員でできており、動画を活用した授業を実践している先生もいる。オンライン授業については教職員全体で取り組んでいく。
- ・新型コロナウイルスの影響で行事計画については変更を余儀なくされた。今後は台風やPCR検査陽性者が出た場合など、府教育庁と協議しながら調整していく。
- ・生徒が今学んでいる知識・技能を人生や社会にどのように生かしていくのかという学びの主体性が大切。今後も「社会との関わり」を意識した学びのために助言いただきたい。

6. 第3回の協議会開催日日程について